

社会福祉士

森田雅巳

福祉の世界では、その実現のために介護保険という制度が、着々と進められています。この介護保険ですが、はつきりと言って「諸刃の剣」です。国（厚生省）では、「生き甲

しかし、年はとつても、毎日毎日が、生き甲斐にあふれた老いの日だったらと、考えるのは誰しも同じだと思います。

私、今三十一才。力のかからも生きた身体をこのままでも、生きたままに生きていきたいと思います。私も必ず「老い」はヒタヒタと足を忍ばせ、確実に私のもとへやって来ます。

まちかど ウォッチ

妻にあられた地域における・・・など」と、素晴らしい看板を掲げていますが、現実的に保険制度を見ても、
「福祉の後退」と誘われても仕方のない一面を持っています。
たとえば、私が仕事をしている、老人サービスですが、ここでの私の一番の心配事は、今、現在サービスを楽しんでいる利用者のうち三人に一人はこのサービスが利用できなくなるということです。「元気、元気の老人」にはサービスは不要だ、とのこと。

気の合った仲間と風呂に入り、食事をし大きな声で笑えるサービスでの一日、この事が本当に不要な事なのでしょうか？
国の方では、そう言ったお年寄りの受け皿は、別の形で考えていると言います。しかし、その具体的な内容がまだ見えてきません。そんなことが、あちらこちらに見えかしてくれています。看板とおりの素晴らしい介護保険を創って行くには、少し急ぎ足するのではないのかと考えるのは、私だけでしょか。

「あたり前」の気づき

「もしもし、〇〇ですが明日△△病院まで行きたいのですが、今度の新しい車は空いてますか？」（一さん）。「今度の車で主人をお花見に連れて行きたいのですが、電動車椅子でも乗れますか？」（じさん）。最近こういった類の問い合わせが増えてきました。

「外出」は、一見当りの前の行為のようですが、それができない人からするとなかなか実現できず、我慢したりあきらめたりしてい

る人たちも多いことと思います。

小松島市の大西多美子さんグループホーム設立のために活動している「おもすびの会」代表もそのうちの一人です。将来自立した生活ができるよう、現在ヒューマンボランティア協会事務局へ職業訓練に通っています。そのためには、何らかの手段で移動しなくてはならず、大西さんにとってもこの送迎サービスは欠かせません。

これから多くの方にこの送迎サービスも含めいろいろなたすけあいサービスを活用していただければ、と思います。



学生ボランティアさん 奮闘記

「好きなことを生かしてみたい」

ボランティアを始めようとしたきっかけは、「社会に出たらなかなかできないと思うので学生のうちに体験しておきたいと思って...。」と将来に向かって前向きです。また、「自分自身が話好きなので楽しみながらやっています。」との事でボランティアの基本を体験を通して気付いておられる川人さん。間違いなく将来の光る素材でしょう。



川下尚美さん (文理大学生生活科学科 2回生)

「将来に向けて何かヒントがありそう!!」

竹中猛夫さん (日本文理大学工学部 工業化学科3回生)

無口でおとなしい性格ですが、いつも急場しのぎで頼んでも「いいですよ!」と言葉少なく即答してくれる竹中さんは、頼りになるお兄さんという印象です。ご自身は「今までやったことはないけど人生勉強のひとつと思ってやっています。」と威風堂々としています。

現在大学では化学関係の研究に取り組んでいるそうですが「またひとつ将来への進路選択の幅が広がりそうですよ!」と心強い言葉であった。



「自分の変化に感激!!」

守安木聖さん (徳島大学歯学部5回生)

歯医者さんの卵である守安さんですが、デビュー『さらだ』を手



伝ってくれています。時には参加された高齢者の方に歯の健康について熱心に話もしてくれたり、参加者からも人気上昇中です。

そんな守安さんも「最初は何をしゃべっているのかわからなくて困ったけど、だんだんとけ込むことができ、最近は人のために何かをしようとする自分に変化をかんじています。」と恥ずかしそうに話されるその瞳の奥には、もって生まれた温かい心がみえかくれ。これからよろしくネ!

「長飛だすけあじ」 でピクニック研修

去る3月7日、事務所スタッフ3名で泉北たすけあじ事務局を訪ね、ピクニック研修を受け、事務局体制のあり方などについても学んできました。研修の合間の佐藤先生との会話の中でいくつかのポイントを得ることができました。

(2) まず最初に、ピクニックを使っていく上で基本的な考えを教えてください。

(3) 運営面について活かされるでしょうか。

(A) 事務局の中は誰でもが共有する情報でなければいけません。そのためには、事務のフロントを創り出す必要がある。

(2) 使いこなししていくための心得はどのような事でしょうか。

(A) いつの時でも最新データの処理の中で動いているという意識が必要でしょう。

面接・管理入力・サービス依頼入力等は、フロントスタッフのしくみがあれば会議を開いたりしなくても処理はできます。経営はひとりの会員からフロントが始まり、カラーとなっていくものです。人数が増えたらとか、団体が大きくなるとからとかいう考えではありません。



市民運動のあり方を問う

(A) この運動はひとり一人の人生をサポートするしかありません。平均値でサポートする仕事ではありません。国の施策と変わらないと市民団体の良さが出ません。多様な人を導入し、いろいろな場所で活躍していくことが大切でしょう。出会いの中で本人たちが変わっていくステップを作ることで、事務局が人を支えようとしなくていいです。その為にもピクニックを使いこなし、フロントが出来上がれば、団体がどんなに大きくなっても少ない事務局員でできるようなことができます。

活動報告

- 1/19 マツダAZワゴン贈呈説明会 (in大阪)
- 1/20 渭北地区独居老人食事会参加 (渭北コミュニティC.C.)
- 1/27 さわやか福祉財団1日研修参加 (in徳島)
- 1/28 連絡調整会議 (於：平成在介C.C.)
- 連絡調整会議 (於：永井さん宅)
- 2/5 ~ 2/7 さわやか福祉財団 フォローアップ研修 (in東京)
- 2/9 NPO法人書類提出
- 2/12 徳島新聞社 取材 (於：どりーまあ事務所)
- 2/19 エコノミージャーナル誌 取材 (於：どりーまあ事務所)
- 2/15 NIK 取材 (於：どりーまあ事務所)
- 2/21 デイサービス さらだ 講習会出席
- 2/23 介護労働安定センター 講習会出席
- 3/3 徳島新聞社文化事業団助成金贈呈式 (於：徳島新聞本社)
- 3/7 パソコン研修 (於：泉北たすけあじ事務局)
- 3/13 デイサービス さらだ (あわっこ作業所見学)
- 3/14 連絡調整会議 (於：平成在介C.C.)
- 3/18 連絡調整会議 (於：永井さん宅)
- 4/6 通所小規模作業所 あおぎワークホーム (山川町) 見学
- 4/24 たすけあじ講演会 泉学 講演 (於：坂出市)

月	介護	家 事	移 送	移 送	話し相手見守り	病 院 付き添い	合 計
1月	342	283.5	57				682.5
2月	338	150.5	31				554.5
3月	399	514.5	79.5				993.0

活動実績

<時間数>

市町村	介護	家事	移送	介護・家事移送	話し相手見守り	病 院 付き添い	合 計	協力会員
徳島市	14	25	16	3	14	4	77	56
鳴島町	2	1	2	1	2		8	9
佐那河内								2
阿南市		1					1	3
勝浦町						3	7	1
鳴門市	2	2	1			1	7	1
藍住町						1	2	3
川島町	1		1				2	4
石井町					2		5	6
山川町	3	3	1		2		6	3
小松島市		1	2				3	8
現ノ浦町							3	2
市場町				1			1	1
志野町				1			1	1
北島町				1			1	2
松茂町				1			1	3
上相町						1		1
土成町								1
坂野町								1
大吹町								1
園町								2
計	22	33	27	4	18	10	115	103

平成11年4月15日 現在

短歌・俳句

行楽や風呂への足のリフトカ
たまの中古も春ゆえ愉し
行楽や入浴サリビスに利用するリフトカ1ですが、
たまたまそれが中古であつても春だから気にならない。

結着は図鑑にゆだね 椿折る
近頃花々は原種・新種・改良種と数多く
最後は図鑑にまかせ椿の枝を折る景です。

村上 由美子



(2) 最後に、今後の「どりーまあサリビス」へのアドバイスをお願いいたします。

(A) 何のために事業をやるのか、誰のために団体が存在するのか、といった自問自答をいつか、いつかえしながら運営にあたってほしい。

どうもありがとうございました。
(研修生一同)

各種助成・賛助会費 ありがとうございます。

- ◆ さわやか福祉財団 連合愛のカンパ
- ◆ 日本財団
- ◆ マツダAZワゴン
- ◆ 徳島新聞社文化事業団
- ◆ 徳島県看護協会
- ◆ 訪問看護ステーション
- ◆ マツダオートザム蔵本
- ◆ 久米哲生(衣類多数)
- ◆ 藤井友市・瀧寿美
- ◆ 牧野完治
- ◆ 北原君代
- ◆ 平島恵美子
- ◆ 村瀬博昭
- ◆ 石原 浩
- ◆ 岡田康志
- ◆ 福井マユ子
- ◆ 宇山ヨシ子
- ◆ 岩崎尚成
- ◆ 水船貞雄
- ◆ 三本とし子
- ◆ 西谷天助
- ◆ 桂耕二郎
- ◆ 西谷研二

(順不同・敬称略)

「すつと我が家で過ごしたいね!」
「訪問看護チームがお手伝いします!」

社団法人徳島県看護協会
訪問看護ステーション

看護・介護についてお困りの方
お気軽にご相談下さい。

TEL (088) 631-3888

MAZDA

PREMIACY
FAMILIA
DEMIO
AZ WAGON
CARI

マツダオートザム蔵本
徳島市南島田町2-72-2
TEL 0120-222806
FAX 0881-33-2882

33-3223
33-2882